

町内会が川崎市の助成金を運用して、はるひ野小中学校前の桜並木で樹勢が劣化している樹を植え替える事業を始めました、その経過と成長の記録です。

植え替え対象の本数	10本 (全35本の内今回分)
工事業者	(株)相光園
工事期間	2021年12月7日～10日

1. 植え替え工事の状況

～1. 植え替え前の桜の樹の状態

・幹、枝の状態

幹の先端部が切られ、割れた状態になっている樹もある。
枝に花芽はある。

枝なし



割れ



Noは駅前側からの樹の連番

・根の状態

幹の下端は腐った様な状態、根は地表から20cm程まで太い根は少なく細根が多い元気がない根が殆ど。
No20は根の張りは少し良い。

腐食状態



No.11

No.12



～2. 掘削後の土の状態

深さ85cm、径150cm迄掘った状態で、底には水がしみ
No5の穴： 底に水がしみ出し、長靴が踵まで埋まる程の泥状態その下は粘土質。



No.4の根

No.20の根



No.20の穴： 坂の上の方だが底の土は水を含んだ泥の状態。

長靴が埋まる状態

粘土質で水がしみ出す

～2. 植え替え工事

・穴の深さ = 85 cm

・穴の径 = 150 cm (敷石径は2m)

土の量は、4トントラック1台分

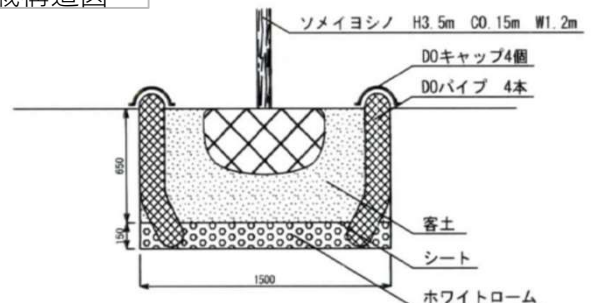
1) 底にホワイトロームを厚さ15cm (黒曜石パーライト、275L)

2) シート(不織布状)

3) 透水性、通気性を良くするための酸素パイプ (径10cmの筒状の網にパーライト詰め込み) を4本埋め込み、上にキャップを被せる。

4) 客土は黒土

植栽構造図



底にホワイトロームと酸素パイプ

～ 3. 植樹

1) 植える桜はソメイヨシノ

樹高（根本～先端）＝約 5 m、幹径＝約 5 c m

根鉢＝約 5 0 c m

2) 手順

- ・ 小枝の先端を伐り落とす
- ・ 幹に麻布を巻きつける
- ・ 木を客土の中に埋め込む
- ・ 鳥居形の支柱を立てる（防腐処理材）
- ・ 添え木を立てる（高さは木の先端近く）
- ・ 木杭とロープ張り

添え木 1：鳥居形で、横棒高さ＝8 0 c m

添え木 2. 高さ 4 m で木の先端近く

木杭：舗装面より高さ 5 0 c m × 8 本

白色のロープを張る

- ・ 根の周りに注水
- ・ 土を舗装面迄追加



植えるソメイヨシノ



No. 1 2, 1 5 植え付け後



木杭 8 本・ロープと添え木



雨の翌朝、ぬかるみ状



NO16学校正面の桜



NO16学校正面の植え付け部

2. 工事日程

1 2 月 7 日	No. 4, 6, 1 1 の 3 本の植え替え
1 2 月 9 日	No. 1 2, 1 5, 1 6 の 3 本の植え替え
1 2 月 1 0 日	No. 1 7, 1 8, 1 9, 2 0 の 4 本の植え替え

植え替えた桜の位置図



No 4, 6の植え替え後

No 4

No 6



No 15~20の桜並木

No15

No16

No17

No18

No19

No20



No 15~20の植え替え後

No11

No12

10本

種別分・種別分・種別分・種別分・種別分・種別分・種別分・種別分・種別分・種別分

はるひ野4丁

はるひ野

トウトウジャヤルダン

はるひ野小学校